

第 19 回専門日本語教育学会総会および研究討論会プログラム

日時：2017 年 3 月 3 日（金）

場所：横浜国立大学教育文化ホール・国際教育センター

総会 10:15～10:35 （教育文化ホール大会議室）

研究討論会 10:40～17:35

口頭発表① 10:40～12:40 （教育文化ホール大会議室）

1. ロシア国内におけるロシア人日本語学習者を対象とした漢文訓読の入門教育の試み  
ー四字熟語を題材とする模擬授業およびアンケート調査の結果分析を中心にー  
グリブ ディーナ（首都大学東京大学院博士後期課程）
2. 観光ガイドのための自律的日本語学習の環境構築を目指す教育と学習支援  
ー中国の大学における観光日本語教育の改善に向けてー  
王健（大阪大学大学院博士後期課程）
3. EPA 看護師・介護福祉士候補者を対象とした遠隔教育における遠隔教育サポーターの役割  
平田友香（国際教養大学）  
橋本洋輔（同）
4. 介護のオノマトペの背景とその機能に関する一考察  
ー介護職員および EPA 候補者へのヒアリング調査を通してー  
神村初美（首都大学東京）  
野村愛（同）

ポスター発表 13:50～15:20 （国際教育センター1 階教室）

- A. 金融分野の日本語における特徴  
ー日経新聞のマーケット欄の記事などの分析からー  
鈴木美奈（金沢大学大学院博士前期課程）
- B. 日商簿記検定 2 級仕訳分野に出現する語彙の調査  
水崎泰蔵（スラナリー工科大学）
- C. 引用を学ぶ基礎の段階の大学生の文章に見られる諸問題  
大島弥生（東京海洋大学）
- D. 外国人家事支援人材に対する日本語教育シラバス（案）の作成  
ー能力記述文及び語彙・表現リストの作成を目指してー

今西利之（京都産業大学）

渡辺史央（同）

E. 専門用語の属性に着目した介護分野の語彙に関する分析

ー学習支援サイト『かいごのご！（仮称）』の開発に向けた調査ー

野村 愛（首都大学東京）

中川健司（横浜国立大学）

角南北斗（フリーランス）

齊藤真美（カナダアルバータ州教育省）

布尾勝一郎（佐賀大学）

橋本洋輔（国際教養大学）

F. 社会科学基礎文献における高頻度二字漢語（名詞）と共起する動詞の分野別使用特性

今村和宏（一橋大学）

庵功雄（同）

G. 日本語教員養成課程の実習生は発話以外にどのような要素を考慮しているのか？

歌代崇史（北海学園大学）

H. 異文化間コンフリクトへの対応に関する考察

ーアジア人ビジネスパーソンを対象としてー

杉本あゆみ（滋賀文教短期大学）

I. 観光日本語教育の実践に向けての留意点

高島美江（早稲田大学）

J. 日本語が上級レベルに達しなかった中国人研修生の日本語学習

栄苗苗（大阪大学大学院博士後期課程）

口頭発表② 15:35~17:35 （教育文化ホール大会議室）

5. 換言をあらゆる接続表現の使用傾向と問題点

ー法学を学ぶモンゴル人学習者の研究計画書を対象にー

渡辺真由子（名古屋大学）

ダワー・オユンゲレル（モンゴル国立大学）

6. 韓国人理工系学部予備教育生の「論理」に対するレディネスの実態

ー日本語教育と数学教育のコラボ授業の答案とアンケートの考察を通じてー

太田亨（金沢大学）  
菊池和徳（大阪大学大学院）  
安龍洙（茨城大学）  
村岡貴子（大阪大学）

7. 使用頻度に基づく学術共通語彙テストの開発と実施

ー国立大学の学生と、国立大学へ入学する韓国人日本語学習者を対象にしてー

佐藤尚子（千葉大学）  
田島ますみ（中央学院大学）  
松下達彦（東京大学）  
笹尾洋介（豊橋技術科学大学）  
橋本美香（川崎医科大学）

8. 研究コミュニティを活用した主体的学習を支援する日本語会話入門教材の開発

山路奈保子（室蘭工業大学）  
因京子（日本赤十字九州国際看護大学）  
アプドゥハン恭子（九州工業大学）

懇親会 18:00～

（横浜国立大学大学会館 3階 『PORTY（ポルティ）』）